

平成15年8月洪水による鶴川下流の浸水状況

出水の状況

鶴川では、8日0時頃から降り出した雨が、9日夕方から深夜にかけて激しい雨となり、水位が急激に上昇しました。穂別水位観測所(穂別町穂別)では、10日午前2時過ぎには堤防の高さなどを決める基準である計画高水位(標高57.97m)を上回りました。また、栄水位観測所(穂別町仁和)で10日午前6時頃に標高34.10m、鶴川水位観測所(鶴川町洋光町)で10日午前8時過ぎに標高5.59mにまで水位が上昇し、破堤や漏水による被害が懸念されるため、水防団が出勤して警戒する危険水位(標高33.90m、標高4.80m)を大きく越える出水となりました。

避難の状況

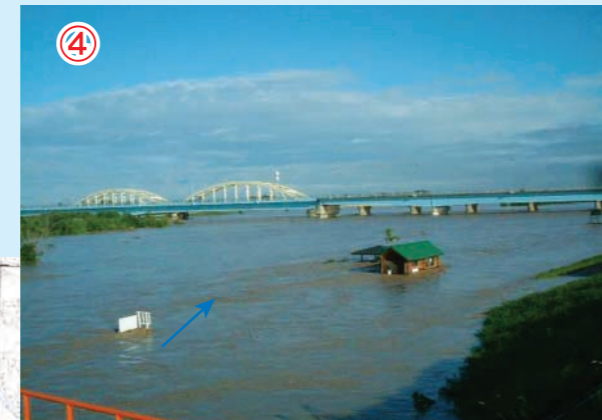
穂別町で10日午前0時、鶴川町で10日午前4時30分に、それぞれ町長によって、鶴川沿いの浸水の恐れのある地区に避難勧告が出され、約400人の住民の方々が、避難しました。その後水位の低下により穂別町で10日午前6時、鶴川町で午前8時50分に避難勧告が解除されました。

出水による道路の寸断

鶴川流域は河川と道路の平行している場所が多く、大きな出水では道路の冠水や土砂崩れなどで、不通になる箇所が多く発生することがあります。平成4年以降の洪水では、主要道路で12箇所(室蘭開発建設部調べ)も不通区間が発生していますが、今回の洪水でも道道や町道3箇所(室蘭開発建設部調べ)で不通となりました。このことから避難の際には、道路状況の確認に注意が必要です。



③ 桁下まで増水した鶴川鉄道橋
：平成15年8月10日午前7時頃撮影



④ 冠水したタンポポ公園付近
：平成15年8月10日午前7時頃撮影



⑨ 内水被害の発生した有明地区
：平成15年8月10日午前10時頃撮影



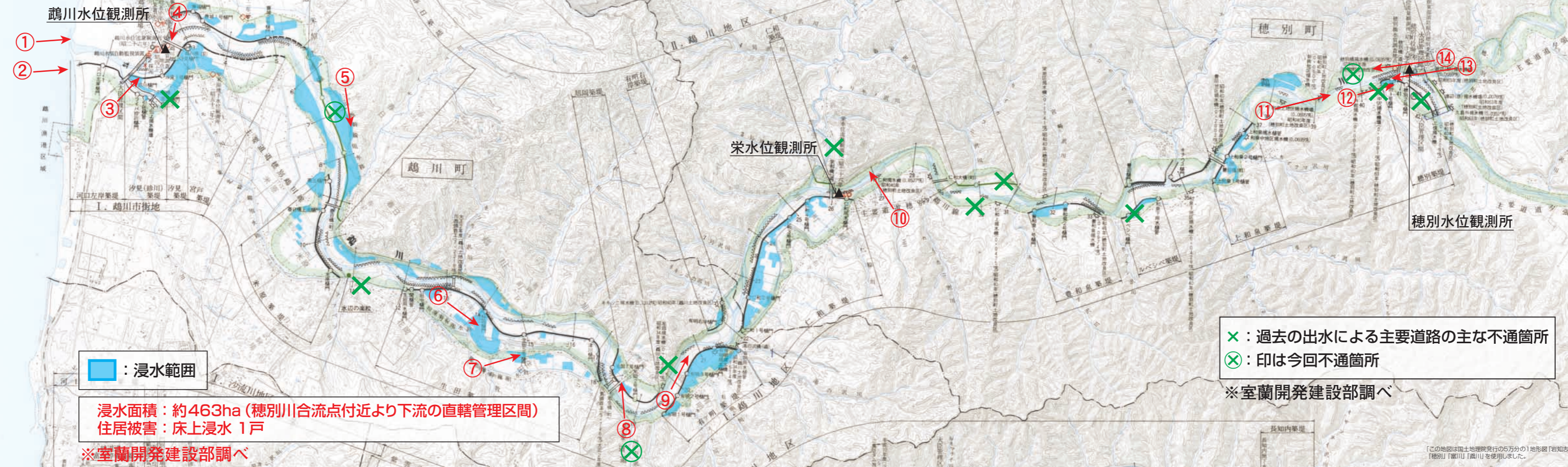
⑩ 斜面の崩落した栄地区
：平成15年8月10日午前11時頃撮影



⑪ 冠水した新興地区
：平成15年8月10日午前10時頃撮影



⑫ ポンプ車排水状況(穂別1号樋門)
：平成15年8月10日午前7時頃撮影



⑬ 内水被害軽減に活躍した排水ポンプ車(穂別1号樋門)
：平成15年8月10日午前7時頃撮影



⑪ 鶴川河口出水状況
：平成15年8月10日午前10時頃撮影



② 鶴川河口出水状況
：平成15年8月10日午前11時頃撮影



⑤ 冠水した一般道道米原田浦線春日付近
：平成15年8月10日午前7時頃撮影



⑥ 内水被害の発生した花岡地区
：平成15年8月10日午前10時頃撮影



⑦ 冠水した主要道道穂別鶴川線生田付近
：平成15年8月10日午前7時頃撮影



⑧ 浸水した旭生橋付近の家屋
：平成15年8月10日午前7時頃撮影



⑭ 冠水した町道穂別豊田線
：平成15年8月10日午前7時頃撮影